

まちづくり交付金 フォローアップ報告書

那珂川河畔地区

平成22年4月

栃木県大田原市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	ボランティア参加者数の増加	人/年	250	325	500	確定 見込み ●	○	あり なし	495	H21年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	住民が地域に対する愛着を持つことができ参加者数の増加に繋がった。
指標2	観光客入込数の増加	人/年	470,834	494,500	500,000	確定 見込み ●	○	あり なし	497,123	H21年6月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	街角スポット、公園、散策・回遊ルート形成により地域資源を磨き上げることができた。
指標3	歩行者交通量の増加	人/年	60,000	78,000	76,000	確定 見込み ●	△	あり なし ●	80,507	H22年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	各施設の整備が完了したことが、住民や観光客の交通量の増加に繋がった。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	観光客増加のためにPR強化	・市広報及び市HPによる周知。	・PRの効果により観光客を増加させることができた。	・観光協会との連携。
	歩行者の安全確保	・危険な道路上にあった市営バスの発着場の移設。	・歩行者及び市営バスの乗降客の安全を確保することができた。	・歩道の確保などの推進。
	商店街の賑わいの持続	・高校生が商店街でインターンシップを実施。	・商店街と高校生との交流が促進された。	・地域拠点等を活用しながら商店街中心のイベントを開催し、商店街の賑わいを創出する等のソフト面の取り組みを図る。 ・周辺地区と連携した事業を実施することで地域資源に付加価値をつけ、地域の活性化に努める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策				

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
・各種イベント時に他県、他市町からの集客増加を図るための情報の発信	・駅構内等へのポスター等の掲示	22年度	・施設管理者との協議、連携強化